

令和4年度野生鳥獣による農作物被害の状況について

1 被害額

令和4年度 86,593千円（前年度から4,462千円の減）
（令和3年度 91,055千円）

2 獣種別被害額の状況

ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルによる被害が全体の9割を占める

- ニホンジカ：35,907千円（前年度から5,758千円の増 +19.1%）
・果樹が60%を占める（ミカン21%、ユズ20%、スタチ19%）
- イノシシ：27,412千円（前年度から6,645千円の減 ▲19.5%）
・継続的な防除・捕獲対策の取組みにより、タケノコ、ミカンの被害が減少
- ニホンザル：15,012千円（前年度から2,861千円の減 ▲16.0%）
・集落ぐるみの防除や加害群れの大型捕獲檻による効果的な捕獲により
野菜、水稻の被害が減少

3 今後の対策

<ニホンジカ>

- ・果樹被害が多い中山間地域での防除・捕獲対策の一層の強化
- ・剣山山系や県境付近など、発生源となる高密度地域での個体数削減を推進

<イノシシ>

- ・農作物被害が多い山裾付近での防除・捕獲対策の強化
- ・出没状況の「見える化」をすすめ、被害に即応した捕獲の推進

<ニホンザル>

- ・GPS首輪による群れの加害レベルや行動圏等の把握を推進
- ・加害レベルに応じて、集落一体となった群れ捕獲や継続的な被害防除を促進

【参考】令和4年度 3獣種の捕獲数（速報値）

合計	27,862頭	（前年比 +9.1%）	…過去最多
内訳：ニホンジカ	18,162頭	（前年比 +20.1%）	…過去最多
イノシシ	8,112頭	（前年比 ▲8.4%）	
ニホンザル	1,588頭	（前年比 +1.5%）	